

議長サマリー：

## 2025 G7 エネルギー・環境大臣会合

声明

2025 年 10 月 31 日 オンタリオ州トロント

2025 年 10 月 30 日から 31 日にかけて、G7 のエネルギー・環境大臣はカナダ・オンタリオ州トロントに集結した。議論されたトピックと前進させられた解決策には、エネルギーの安全保障と低廉性の強化、人工知能（AI）に関連するものを含むエネルギーイノベーションの促進、環境保護及び、競争力があり、繁栄し、持続可能で強靱な経済とコミュニティを支援することを目的とする気候変動対策が含まれた。

1975 年の G7 創設から 50 年が経った今、大臣らはエネルギー及び環境目標の達成に向け、国内及び国際的な行動と投資を通じたグローバルな多国間努力という文脈において、継続的な G7 のリーダーシップの戦略的役割について議論した。

大臣らは、世界経済と地政学の変動、気候変動、環境悪化、技術進歩が、エネルギー安全保障と経済競争力に及ぼす影響について議論した。対話は、現在及び新たなリスクと機会に対応するための具体的な解決策の提示に焦点を当てた。エネルギーを威圧の手段として使用することを非難し、ロシアによるウクライナ侵攻及び最近のウクライナのエネルギーシステムへの直接的な攻撃を一致して非難した。大臣らは、直接的な財政支援、技術支援、政策調整、資源調整を通じて、G7 がウクライナのエネルギー部門の復興を引き続き支援する方法について協議した。

国民のエネルギー安全保障の強化が急務であることから、強靱性・信頼性・透明性のあるサプライチェーンを確保するための措置、特に重要鉱物や電力システム向けの主要なエネルギー技術及び部品が重点的に議論された。重要鉱物生産アライアンスのメンバーとして、重要鉱物の供給網の集中・混乱・脆弱性に対処するプロジェクトを具体化するため、各国の政策手段をどのように活用するかを共有した。大臣らは、重要鉱物プロジェクトを高水準で生産段階に移行させるための集団的行動を特定し、経済成長の推進とサプライチェーン強化には調整が鍵であることで合意した。大臣らは、各国の重要鉱物担当特使がこれらの行動を推進させ、アライアンス下での継続的な前進を確保するための構造と支援のあり方を検討することで合意した。

大臣らは、デジタル化が進む 21 世紀経済を動かすため、送電網及び送電インフラの拡充と近代化に向けた戦略的投資の緊急性を一致して認識した。移行燃料の安全保障の強化に向けた取組も議論された。クリーン電力への需要増大に対応するため、大臣らは原子力技術の安全かつ責任ある導入、並びにフュージョン技術における協力強化について意見交換を行った。エネルギーイノベーションにおける官民投資の役割は、経済の競争力と成長を高め、気候目標を達成する上で不可欠であると認識された。

気候変動、生物多様性の損失、プラスチック汚染を含む汚染、その他の環境危機による影響とコストの増大が、大臣らによって広く認識された。特に、山火事等異常気象の頻発・激甚化の要因としての気候変動の役割、生物多様性の損失、生態系の劣化、水不足、食料不安等の地球規模的影響が強調された。気候変動対策の加速と 2050 年までのネット・ゼロ達成に向けた科学的知見に基づく迅速な行動の必要性が議論され、大きな経済的利益を含む気候変動への共同対策がもたらす便益が広く認識された。

大臣らは、カナダスキス山火事憲章における首脳のコミットメントの推進の重要性を強調し、異常気象が人々、経済及び環境に及ぼし得る壊滅的な影響を認識した上で、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の知見を含む最善の科学的知見に基づき、全ての人々を対象とする早期警戒システムの整備促進、並びにあらゆるレベルの公的・民間関係者が異常気象を予防・予測・準備し、その強靱性を構築するための体制強化の必要性について協議した。大臣らはまた、水関連課題へ対応するための優先事項と取組について協議した。これには、G7 が共同で優先課題を策定する機会、2026 年国連水会議に向けた可能な約束・イニシアティブ、並びに水の国際行動の 10 年を締めくくる 2028 年国連水会議に向けた同様の取組が含まれる。大臣らはさらに、国連システム内における水問題に関する潜在的で定期的な政府間プロセスについて、G7 による調整を行うことについても協議した。

加えて、多くの大臣は、世界的な生物多様性の損失を食い止め、回復させることの重要性を強調し、30 by 30 目標を含む昆明・モンリオール生物多様性枠組（KMGBF）の実施に向けた継続的な取組を強調した。さらに、国連公海等生物多様性協定（BBNJ）の発効を歓迎するとともに、プラスチック汚染に関する法的拘束力のある国際文書（条約）の交渉が進行中であることを踏まえ、全ての大臣で条約の策定に向けた建設的な関与を改めて確認した。

大臣らは、エネルギー・環境分野での行動がもたらす経済的機会及び、どのようにエネルギー移行が経済競争力と成長を促進し、繁栄と雇用を創出し、強靱で健全なコミュニティを確保するかについて検討した。この観点から、大臣らは、クリーン・再生可能エネルギーや、AI、二酸化炭素回収・有効利用・貯留（CCUS）、二酸化炭素除去（CDR）、蓄電池技術等の革新的技術の拡大がもたらす経済的機会について議論した。多くの大臣は、省エネルギーがエネルギー安全保障とエネルギー移行目標の両方の強化に寄与することと、経済全体で省エネルギーを推進する機会について言及した。

また大臣らは、自然を活用した解決策（NbS）、循環経済、水・海洋・沿岸及びその他の自然資本の持続可能な管理等、人・経済・環境にシナジーとコベネフィットをもたらす統合的アプローチを推進する機会について検討した。これにより成長を促進し、雇用を創出し、繁栄を高めると同時に、国内外の海洋及び広範な保全目標との整合性を確保する。

この文脈において、大臣らは最大限の効果を得るために、どのように公共資源を戦略的に配分するかについて協議した。これには、海外で最も影響を受ける地域を支援する気候・環境ソリ

ューションへの民間資金を動員しつつ、国内において経済機会・良質な雇用・持続可能な成長を創出し、小島嶼開発途上国（SIDS）や後発開発途上国（LDCs）を含む最も脆弱な国々に対して最優遇融資を重点的に配分することが含まれる。

G7 の取組と共有優先課題の達成には、全てのパートナーによる行動と、他国政府、先住民、民間セクター、市民社会等のパートナーシップの活用が不可欠であることが認識された。大臣らは、エネルギーシステム、人工知能（AI）、重要鉱物に関する取組を推進するデータと分析を提供する国際エネルギー機関（IEA）の継続的で建設的な役割を歓迎した。

この点に関し、大臣らはエネルギー及び環境関連の重要分野において、G7 として、またパートナーと共に、協力と連携を強化する取組を継続することに合意した。そのコミットメントは以下を含む：

- **G7 水コアリション作業計画**を通じた淡水分野における共同作業の促進・強化。世界的な水関連プロセス間の取組を調整し、対話を有意義な行動へと転換することを目的とする。
- **循環経済及び資源効率性トロント行動計画**を通じた G7 の継続的取組の推進。特に、重要鉱物と原材料、繊維とファッション、プラスチックといった影響力の大きい分野に焦点を当てる。
- **重要鉱物における基準に基づく市場の促進に向けたロードマップ**の策定。カナナスキス首脳会議で合意された **重要鉱物行動計画**の実施における初期行動として、強靱で信頼性が高く透明性のある重要鉱物サプライチェーンの確保に向けた集団的行動を強化する。
- G7 首脳が発表したカナダ主導の **重要鉱物生産アライアンス**の推進。防衛及び先端製造に必要な重要鉱物プロジェクトへの戦略的投資とオフテイクを通じて、主要なパートナー及び産業界と断固たる行動を取ることで、サプライチェーンの脆弱性に対処する。
- **繁栄のための AI に関する G7 首脳声明**に基づき首脳が指示した「エネルギー・AI 作業計画」を実施するための国際的・産業パートナーとの連携。同計画は、エネルギーシステムにおける AI 及びデジタル技術の普及促進、イノベーション強化、及び責任ある成長に必要な技能や人材の育成を目的とする。
- **G7 エネルギー安全保障強化に関する行動喚起**を通じた集団的エネルギー安全保障の強化に向けた行動推進と、ウクライナのエネルギー安全保障への支援及び、近代的で信頼性が高く強靱かつ効率的なウクライナのエネルギーシステム再建への継続的支援の再確認。
- 原子力及びフュージョンエネルギーの機会を捉え、小型モジュール炉や革新炉等の革新的原子力技術の導入を支援し、責任ある廃棄物管理を確保する。

議論は、IEA と共催した「エネルギーイノベーションフォーラム」、大西洋評議会の「エネルギー安全保障の未来サミット」、世界資源研究所（WRI）との共催した「気候・環境分野にお

ける国際民間資金動員に関するハイレベル円卓会議」等、産業界、市民社会、その他パートナー及びステークホルダーとのサイドイベントを通じて、より豊かなものとなった。

G7 は、オーストラリア、メキシコ、大韓民国、ウクライナ、国際原子力機関（IAEA）、IEA、国連気候変動枠組条約（UNFCCC）事務局、WRI の代表者が大臣会合に参加したことを歓迎した。

大臣らは、2026 年の G7 議長国としてのフランスのリーダーシップに期待を表明した。

G7 エネルギー・環境大臣会合の成果には以下のものが含まれる：

- [G7 水コアリション作業計画](#)
- [循環経済及び資源効率性トロント行動計画](#)
- [異常気象予測・準備・対応に関する議長ステートメント](#)
- [重要鉱物における基準に基づく市場の促進に向けたロードマップ](#)
- [G7 エネルギー・AI 作業計画](#)
- [G7 エネルギー安全保障強化に関する行動喚起](#)
- [ウクライナのエネルギー安全保障に関する G7 声明](#)
- [原子力・フュージョンエネルギーに関する G7 声明](#)